

<スポーツアパレル・シューズ市場 調査レポート>

スポーツシューズ市場 成長鈍化 成長率下降+12.0%から+2.8%へ

2017年12月25日

エヌピーディー・ジャパン株式会社

<スポーツアパレル・シューズ市場 調査レポート>

スポーツシューズ市場成長鈍化、成長率下降 12.0%から 2.8%へ

国内の市場規模と消費者購買情報が分かるスポーツアパレル・シューズ市場情報サービス『Japan Sports Tracker ^{※1}』を提供するエヌピーディー・ジャパン株式会社(所在地：東京都港区、代表取締役：トーマス・リンチ)が、スポーツシューズに関する市場分析を 12 月 25 日に発表します。

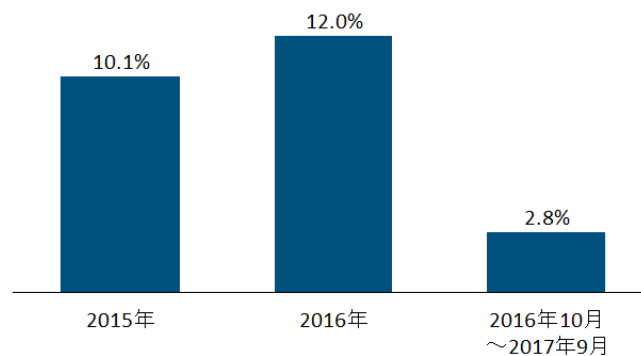
2桁成長率だったスポーツシューズ市場が最新の直近1年(2016年10月~2017年9月計)では成長率は2.8%まで落ち込んでいます。本レポートでは、成長率鈍化の要因を分析します。

スポーツシューズ市場成長鈍化 男女共に市場拡大幅減

『Japan Sports Tracker』では、スポーツに使われている、またはスポーツ用に販売されているアパレルとシューズの消費者購入動向を継続して毎月調査をしています。

スポーツシューズ市場は、2015年の成長率は10.1%、2016年は12.0%と2年連続で2桁成長でした。しかし最新の直近1年(2016年10月~2017年9月計)で前年同期比を見ると2.8%増で、プラス成長ではあるものの成長率は急激に落ちています(図表1)。

<図表1> スポーツシューズ市場 成長鈍化
スポーツシューズ市場成長率(金額単位)



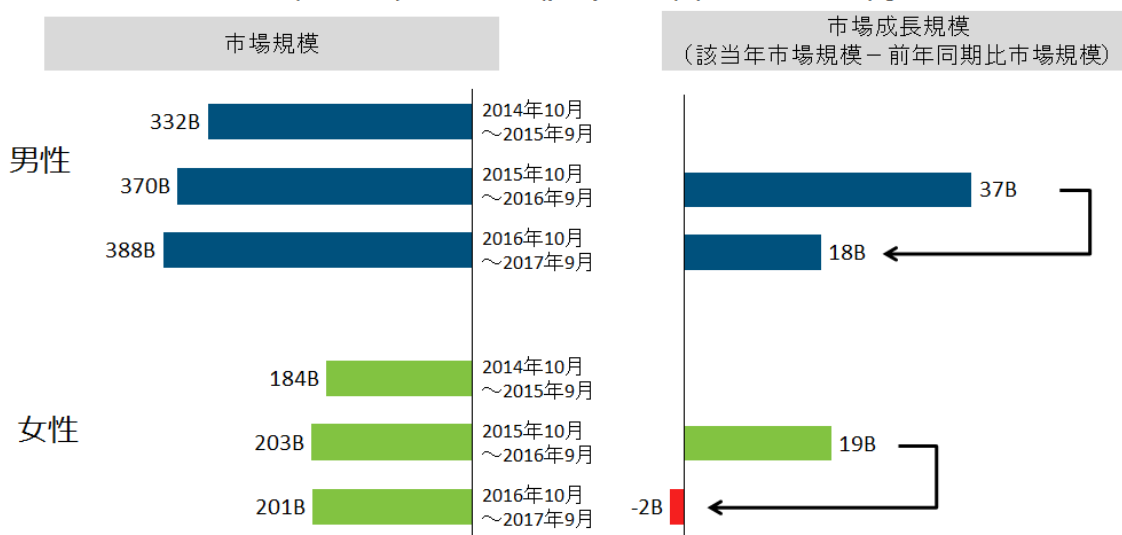
出典：NPD Japan Sports Trackerより

着用者性別で見ると、男女共に市場成長規模が小さくなっています（図表2）。

まず男性着用者の市場拡大の推移を見てみます。前年同期（2015年10月～2016年9月計）は370億円市場拡大し、成長率は+11.3%でした。最新の直近1年（2016年10月～2017年9月計）では180億円の市場拡大で成長率は+4.8%でした。つまり市場成長規模はこの1年で190億円減（370億円－180億円）、成長率は6.5pt減（11.3%－4.8%）となります。

次に女性市場を見てみます。前年同期（2015年10月～2016年9月計）は190億円市場拡大し、成長率は+10.4%でした。最新の直近1年（2016年10月～2017年9月計）では20億円縮小し、成長率は－0.9%でした。つまり市場成長規模はこの1年間で210億円減（190億円－（－20億円））、成長率は11.3pp減（10.4%－（－0.9%））となります。

＜図表2＞ スポーツシューズ市場 成長鈍化
着用者性別 市場規模推移（金額単位 B=10億円）



出典：NPD Japan Sports Trackerより

「スポーツ使用」成長鈍化の影響が大

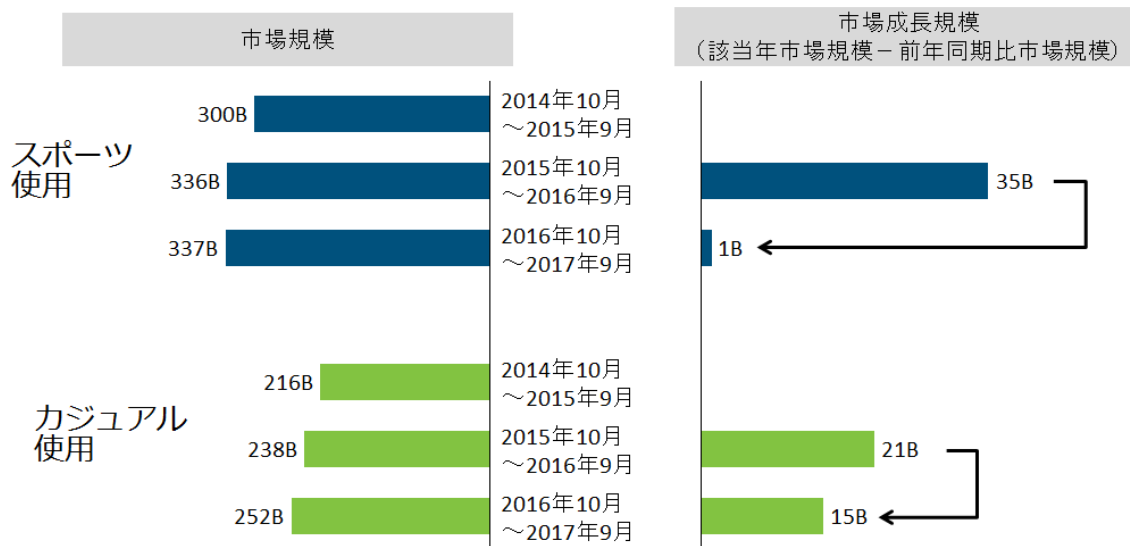
使用用途別^{*2}にみると、最新の直近1年（2016年10月～2017年9月計）では、「スポーツ使用」の方が「（スポーツ使用以外の）カジュアル使用」よりも市場成長鈍化へ大きく影響しています（図表3）。

まずスポーツ使用の市場拡大の推移を見てみます。前年同期（2015年10月～2016年9月計）は350億円市場拡大し、成長率は+11.8%でした。最新の直近1年（2016年10月～2017年9月計）ではその1年前と比べ、10億円市場拡大で成長率は+0.4%でした。つまり市場成長規模はこの1年で340億円減（350億円－10億円）、成長率は11.4pt減（11.8%－0.4%）となります。

次にスポーツ以外のカジュアル使用市場を見てみます。前年同期（2015年10月～2016年9月計）は210億円市場拡大し、成長率は+9.8%でした。最新の直近1年（2016年10月～2017年9月計）では150億円拡大で成長率は+6.3%でした。つまり市場成長規模はこの1年間で60億円減（210億円－150億円）、成長率は3.5pt減（9.8%－6.3%）となります。

＜図表3＞ スポーツシューズ市場 成長鈍化

使用用途別 市場規模推移（金額単位 B=10億円）



出典：NPD Japan Sports Trackerより

「ランニング/陸上競技使用」「ウォーキング使用」が鍵

スポーツ使用用途を更に詳しく見てみると（特典データ）、スポーツ使用全体の市場拡大規模は 340 億円減ですが、その減少幅への影響が大きかったのは金額市場規模シェア 1 位（32.7%）のランニング/陸上競技使用目的とシェア 2 位（12.0%）のウォーキング使用目的で、この 2 つを合わせて 280 億円の市場規模減少でした。

着用者性別に関し、女性着用者市場がマイナス成長であることは懸念材料です。しかし市場の 64%のシェアを占め（2016 年 10 月～2017 年 9 月計）市場をけん引してきた男性着用者市場の成長が鈍化していることも、今後の市場成長を見るうえで注視すべき点です。

使用用途に関してはスポーツ使用の市場成長鈍化があらわれていますが、高齢化や健康志向の高まりという社会要求に応えスポーツを広めることは業界全体での社会的取り組みでもあります。特にランニングやウォーキングといった多くの人が気軽に取り組みやすいスポーツの再強化が鍵となります。

金額単位で市場が成長鈍化していますが、これは購入合計数の減少よりもむしろ 1 足あたりの平均価格が下がっていることが主な要因となっています。平均価格下降の一因は、シェアを下げているスポーツ用品店やブランドショップよりも平均価格が低い通販・ネットモールがシェアを伸ばしていることにあります。成長が著しい通販・ネットモールに注目して販売戦略をたてるのも 1 つの手ではありますが、平均価格が低いことも考慮して適切なチャネルを選択する必要があります。

※本内容をご覧の皆様向け特典について（2018年6月末まで）

特典データ「スポーツシューズ 使用目的別主要スポーツ市場規模推移（2016年10月～2017年9月計）」
を無料でご提供いたします。ご希望の方は下記お問合せ先フォームにてご連絡下さい。

<https://www.npdjapan.com/contact-us/>

*1 Japan Sports Tracker

スポーツアパレル・シューズ市場における全国の消費者購買行動を時系列で把握できる日本で唯一の消費者パネルデータベースです。市場のトレンドやビジネスチャンス特定し売上を伸ばすために必要な、製品トレンドと消費者動向について包括的な情報が得られます。カテゴリ、ブランド、アイテムレベルで自社製品、競合他社製品のパフォーマンスを分析できます。

詳細 URL: <http://www.npdjapan.com/solutions/sports/>

Japan Sports Trackerとは

Japan Sports Trackerは、スポーツアパレル・シューズ市場における全国の消費者購買行動を時系列で把握できる日本で唯一の消費者パネルデータベースです。

27,000
年間サンプル数

47 都道府県
調査対象エリア
※全国47都道府県を5地域に分けてデータ分析が可能

16-69 歳
調査対象者

Japan Sports Trackerができること

日本国内のスポーツアパレル・シューズ市場における、チャネル・小売店・製品カテゴリ・ブランドのトレンドを時系列で捉えることが可能です。Sports Trackerを使うことで、購入者・利用者属性はもちろん自社・競合・市場全体の動向まで理解することができます。



*2 使用用途

スポーツ使用 = 「スポーツ用のみ」「主にスポーツ用」「スポーツとそれ以外（普段着）に同程度」の計
カジュアル使用 = 「主にスポーツ（普段着）以外」「スポーツ以外（普段着）用のみ」の計

調査データの転載について

本件で公開されている資料につきましては、ご使用用途によりませんが、出典元を明記していただければ、基本
的にご利用いただけます。

表記は「NPD Japan, エヌピーディー・ジャパン調べ」をお願いいたします。

ご使用前には必ず下記の問い合わせ先までご一報ください。

過去のレポートは、下記ページの「プレスリリース」よりご覧いただけます。

<http://www.npdjapan.com/solutions/sports/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

エヌピーディー・ジャパン株式会社

担当：河端 香織（かわばた かおり）

〒108-0074 東京都港区高輪 3-23-17 品川センタービル 8F

TEL : 03-5798-7663

FAX : 03-5798-7665

Email : npdjapan.info@npd.com

■ 会社概要

会社名 エヌピーディー・ジャパン株式会社

英名 NPD Japan Ltd.

設立年月日 2003年 3月 31日

所在地 〒108-0074 東京都 港区高輪 3-23-17 品川センタービル 8F

TEL (03) 5798 - 7663

FAX (03) 5798 - 7665

資本金 80,000,000 円

株主 The NPD Group Inc. (100%)

代表者 トーマス・リンチ

所属団体 一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会